



各 位

平成23年4月4日

上場会社名 エナジーサポート株式会社
 代表者名 取締役社長 吉村 亜東司
 (コード番号 6646 名証二部・大証二部)
 問合せ先 常務取締役管理本部長 村山 幹 樹
 (TEL 0568-67-0851)

当社の親会社 日本ガイシ株式会社
 代表者名 取締役社長 加藤 太郎
 コード番号 5333 東証一部・大証一部
 名証一部・札証

特別損失の計上及び業績予想の修正に関するお知らせ

平成23年3月期において、下記のとおり特別損失を計上する見込みとなりましたのでお知らせするとともに、最近の業績の動向等を踏まえ、平成23年1月31日に公表いたしました業績予想を下記のとおり修正いたします。

記

1. 特別損失の計上について

① 平成23年3月期第4四半期における投資有価証券評価損

	個別	連結
(A) 平成23年3月期第4四半期会計期間(平成23年1月1日から平成23年3月31日まで)の投資有価証券評価損の総額(イ)-(ロ)	76百万円	76百万円
(イ) 平成23年3月期第4四半期累計期間(平成22年4月1日から平成23年3月31日まで)の投資有価証券評価損の総額	92百万円	92百万円
(ロ) 平成23年3月期第3四半期累計期間(平成22年4月1日から平成22年12月31日まで)の投資有価証券評価損の総額	15百万円	15百万円

(ご参考) 当社の決算期末は、3月31日であります。

②

	個別	連結
(B) 平成22年3月期の純資産額	11,180百万円	11,945百万円
(A/B×100)	0.7%	0.6%
(イ/B×100)	0.8%	0.8%
(C) 最近5事業年度の経常利益の平均額	254百万円	306百万円
(A/C×100)	30.0%	24.9%
(イ/C×100)	36.2%	30.1%
(D) 平成22年3月期の売上高の1%の額	116百万円	127百万円
(A/D×100)	65.7%	60.1%
(イ/D×100)	79.5%	72.6%

(C) 経常利益額及び(D) 当期純利益額につきましては、最近事業年度の経常利益及び当期純利益が、その年度の売上高の2%及び1%に満たないため、最近5事業年度の経常利益及び当期純利益の額の平均(赤字の年度についてはゼロとして計算)と最近事業年度の売上高の2%の額及び1%の額のいずれか大きい方を基準額としております。

③ 今後の見通し

上記のとおり第4四半期会計期間において、当社が保有する株式の株価下落に伴い、連結・個別ともに特別損失として投資有価証券評価損を76百万円程度計上する見込みであります。なお、業績予想につきましては後述のとおりであります。

2. 平成23年3月期通期連結業績予想数値の修正
(平成22年4月1日～平成23年3月31日)

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1株当たり 当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想 (A)	13,900	400	510	370	16.30
今回修正予想 (B)	14,160	430	540	324	14.27
増減額 (B-A)	260	30	30	△46	—
増減率 (%)	1.9%	7.5%	5.9%	△12.4%	—
(ご参考)前期実績 (平成22年3月期)	12,704	116	220	△877	△37.47

3. 平成23年3月期通期個別業績予想数値の修正
(平成22年4月1日～平成23年3月31日)

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1株当たり 当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想 (A)	12,500	280	390	300	13.21
今回修正予想 (B)	12,570	300	410	234	10.31
増減額 (B-A)	70	20	20	△66	—
増減率 (%)	0.6%	7.1%	5.1%	△22.0%	—
(ご参考)前期実績 (平成22年3月期)	11,608	44	154	△905	△38.66

4. 修正の理由

売上高につきましては連結・個別ともに若干の増加を見込んでおります。利益面につきましては連結・個別ともに売上高の増加による営業利益及び経常利益の増加を見込んでおります。また、前述のとおり特別損失として投資有価証券評価損を76百万円程度計上するため当期純利益の減少を見込んでおります。

(注記)

上記の予想は、発表日現在で得られた情報に基づき作成したものであり、不確定要素を含んでおります。従いまして、実際の業績は、状況の変化によって予想数値と異なる場合があります。

以上